

校長室から

学校教育目標

　　「知・徳・体、調和のとれた生徒の育成」

　　　　　　　～進取的な努力をする人材の育成～

令和4年9月16日　第24号

フェルメ－ル展

「３年ぶり」というフレ－ズをよく耳にします。祭りのほうも３年ぶりの開催、久米中体育大会も３年ぶりに全体開催。

ところで、先日フェルメ－ル展に行ってきました。天王寺の美術館に。本当は夏休みに行こうと計画していたのですが、意外と忙しくこの時期に。

フェルメ－ル作と言われる絵は、３０数枚しかありません。そのうちの４枚ほどを見たのですが、今回は５枚目。しかも、描かれた絵の背景が実際の作品の上から白く塗りつぶされていたことが判明。何年もの時間をかけて、その塗りつぶされた部分を取り除いてみると、なんと大きな天使の絵が現れました。当時、大変話題になり「いつか見たいなぁ」と思っていたことが実現。

フェルメ－ル展と言いながら、フェルメ－ルの作品はこの１点のみ。しかし、話題性が高く、たくさんの観衆。

たくさんそろえられたオランダ絵画(オランダになぜ絵画が広まったのかは、またいつかお話しします)をすっ飛ばし、一気に目的のフェルメ－ルの一枚へ。感動しました。手紙を読んでいる女の子の背景に、今まで図録では見たことのなかった天使の姿。科学の進歩、技術の進化に震えました。

しばらくして、落ち着いてくると、背景の天使の絵は、手紙の中身が恋愛の成就を告げるものに見えてきました。すると、なぜか視線は手紙ではなく天使のほうばかりに行きます。白く塗られて天使が見えないほうが、手紙を読む緊張感が伝わったような気がして、知らないほうが幸せなこともあるなあと一人合点したのでした。